

第7回東北 MIST 研究会の報告

平成 28 年 7 月 9 日（土）、仙台において第 7 回東北 MIST 研究会を開催いたしました。65 名の参加をいただき盛会のもとに無事終了いたしましたのでご報告いたします。

ご発表いただいた 11 の演題はいずれも先進的な内容のもので、情熱あふれる発表に白熱した議論が加わり大きく時間を超過しての進行となりました。発表および共同演者の皆様、質問にお立ちいただいた参加者の皆様、進行に手腕を発揮していただいた座長の秋田赤十字病院石河紀之先生、東北大学病院菅野晴夫先生、青森県立中央病院富田卓先生、竹田綜合病院小野田祥人先生はじめ皆々様に心から感謝申し上げます。

特別講演 1 では日本鋼管病院の大森一生先生に Full endoscopic surgery と LIF の 2 つの話題についてご講演を賜りました。頰椎と腰椎を合わせて既に 500 例以上の Full endoscopic surgery 症例を執刀されているとのことで、その適応と手術手技上の注意点について動画を交え詳しくお話しいただきました。LIF については安全な手術のために必要な知識をまとめいただき、これから LIF を導入しようと考えている施設の背中を後押ししていただける内容でした。

特別講演 2 では神戸赤十字病院の伊藤康夫先生に胸椎・腰椎損傷に対する PPS 手術の適応と限界と、伊藤先生が発案され普及されてきた spinal instrumentation を利用した骨盤骨折に対する低侵襲手術についてご講演賜りました。伊藤先生のご講演も動画を交えたもので非常に分かりやすい内容のものでした。

次回の第 8 回東北 MIST 研究会は平成 29 年 1 月 29 日福島県立医科大学整形外科 二階堂 琢也先生のもと仙台において開催される予定です。全国の皆様にもご参加いただけますよう、今後ともよろしくお祈りいたします。

国立病院機構仙台医療センター 整形外科
小川真司

